



国際開発室通信

2014年2月 第6号



学校法人 田村学園 横浜経理専門学校
国際開発室 発行

〒 220-0011

横浜市西区高島 2 丁目 2 番 1 1 号

☎ 045-435-5500 FAX : 045-453-2776

<http://www.tamura.ac.jp/keiri/>

今月号の見どころ

1. 簿記検定試験
2. 電卓計算能力検定試験
3. 本校近年検定試験実績
4. 中国の春節

4月生募集の
お問い合わせは、
中国語の対応も♪

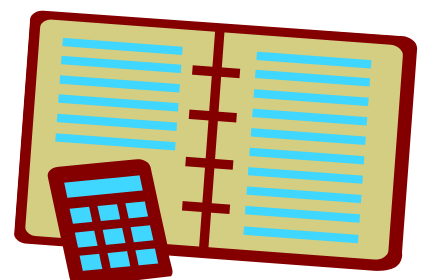
1. 簿記検定試験

簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、企業の経営成績と財政状態を明らかにする技能です。**企業の活動を適切、かつ正確に情報公開するとともに、経営管理能力を身につけるために、簿記は必須の知識です。**また、複式簿記は、数多くの複雑な企業取引を、数少ない取引要素で分類・整理し、総合的な経営情報を提供する極めて有用なシステムであり、企業が追及する利益はこのシステムにより求められます。もはや、経理・財務担当者だけでなく、どの企業、どの事業に携わる人たちにも必要不可欠なビジネススキルなのです。それでは、ここで主な簿記検定試験【**日商簿記検定**】と【**全経簿記検定**】を紹介しましょう。

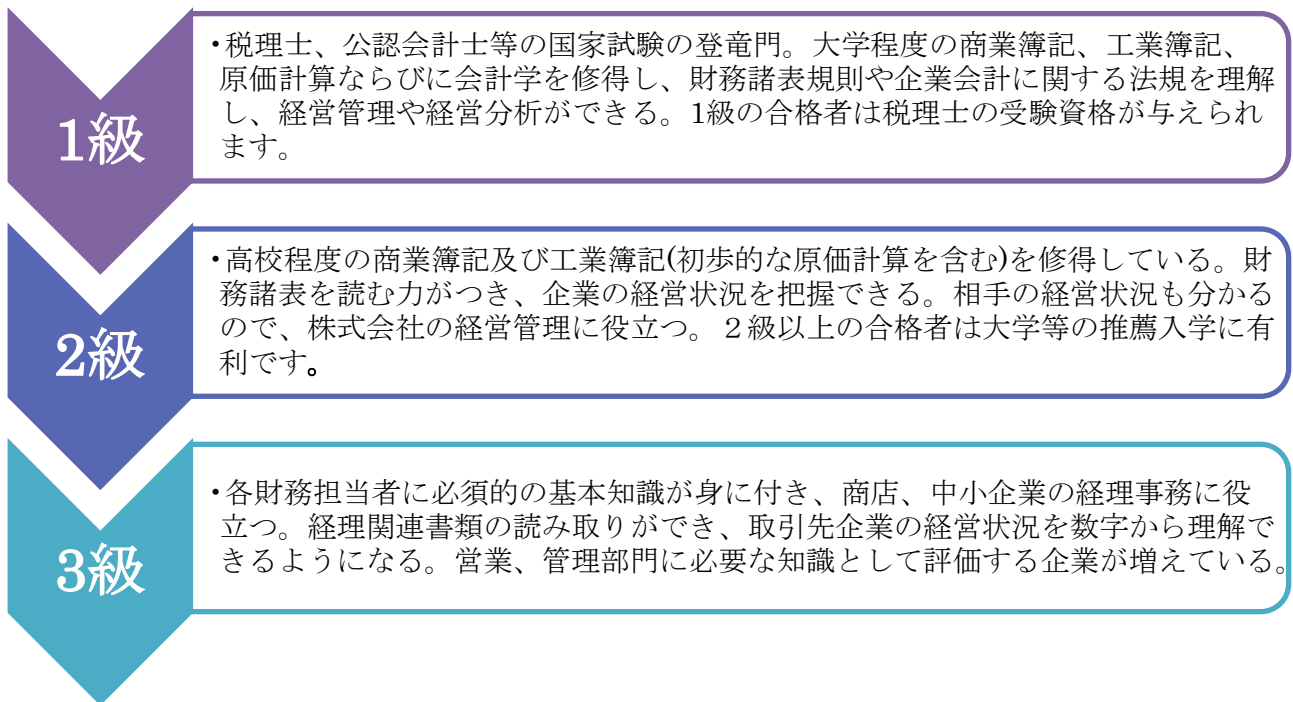
◆日商簿記検定

※出典：日本商工会議所

日商簿記検定は、日本商工会議所が主催する検定です。現在、多くの企業が社員に対して簿記検定の資格取得を奨励しているほか、大学や短大の推薦入試、単位認定の基準に採用されていることなどから、年間で60万人以上が受験する簿記の検定試験として社会的に高い信頼と評価を得ています。



◆各級の基準



◆出題範囲・合格基準・受験料

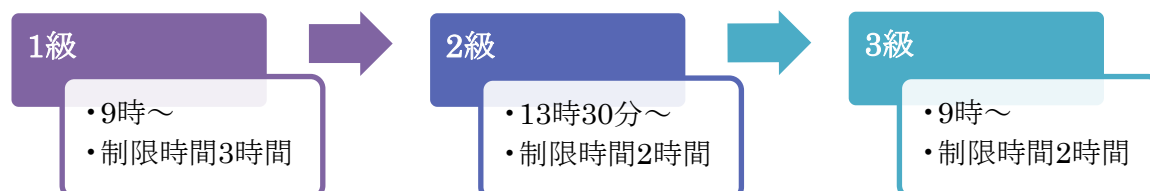
級	試験科目	制限時間	合格基準	受験料
1級	商業簿記・会計学	1時間30分	70%以上	7,500円
	工業簿記・原価計算	1時間30分	但し、1科目ごとの得点は40%以上	
2級	商業簿記・工業簿記 (初歩的な原価計算を含む) 5題以内	2時間	70%以上	4,500円
3級	商業簿記 5題以内	2時間	70%以上	2,500円

◆受験資格



◆試験時間

※2級、1級からの受験や、2・1級、3・2級を同日に受験することも可能です。



◆受験者データ (全国)

1 級

回	試験日	受験者(人)	実受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
134	H25.06.09	12,902	10,143	984	9.7
132	H24.11.18	16,782	13,146	1,690	12.9
131	H24.06.10	14,837	11,960	1,455	12.2
129	H23.11.20	19,078	14,731	1,919	13.0
128	H23.06.12	16,635	13,160	1,365	10.4

2 級

回	試験日	受験者(人)	実受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
134	H25.06.09	58,206	42,703	5,920	13.9
133	H25.02.24	76,069	57,898	27,538	47.6
132	H24.11.18	79,837	61,796	14,149	22.9
131	H24.06.10	64,353	48,341	14,834	30.7
130	H24.02.26	72,040	53,404	16,808	31.5

3 級

回	試験日	受験者(人)	実受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
134	H25.06.09	110,190	85,585	29,025	33.9
133	H25.02.24	109,473	84,846	33,513	39.5
132	H24.11.18	122,458	95,847	30,622	31.9
131	H24.06.10	107,370	83,409	34,294	41.1
130	H24.02.26	107,326	80,887	39,693	49.1

◆申込登録から成績票到着までの流れ

※お申込は <http://www.kentei.ne.jp/>

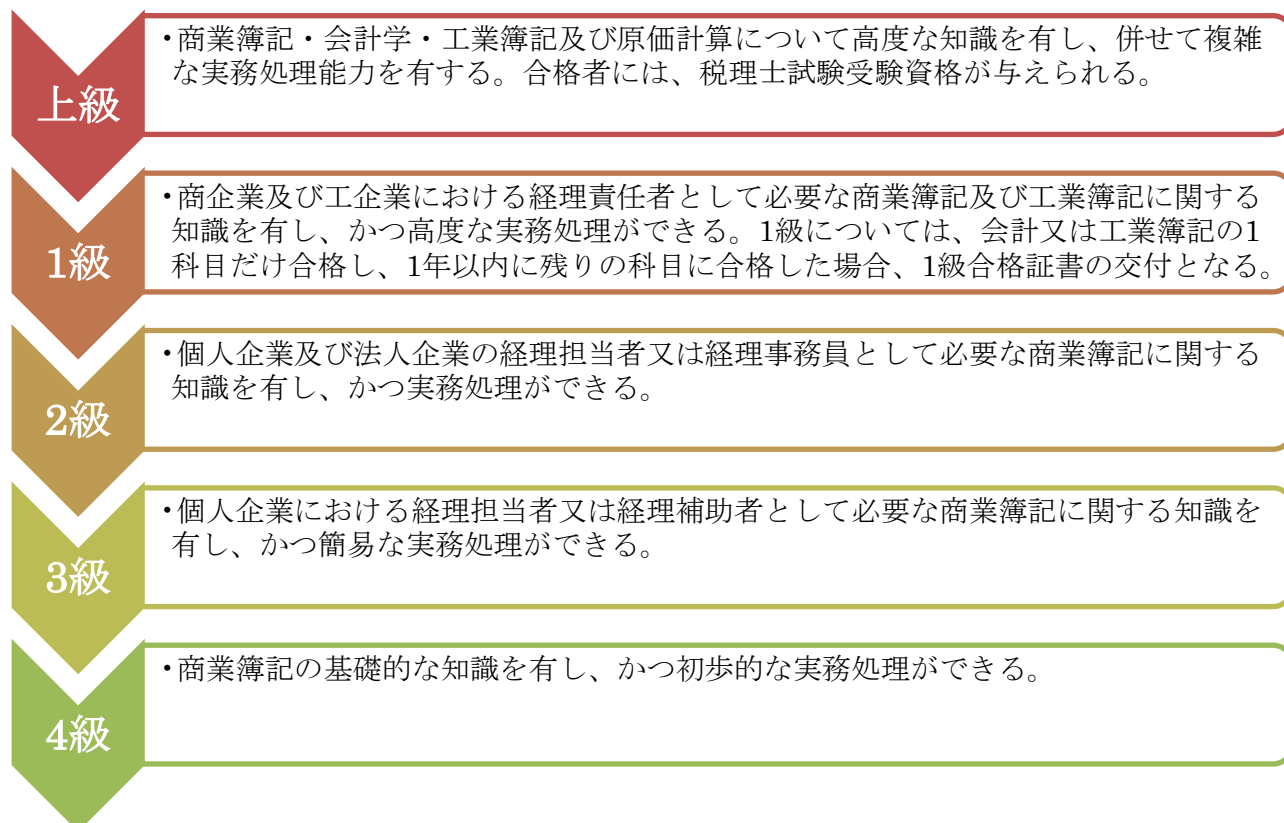


◆全経簿記検定

※出典：全国経理教育協会

全経簿記検定は、全国経理教育協会が主催する検定です。昭和31年10月14日、第1回簿記能力検定試験を実施、以後、年3回の施行。昭和36年5月12日、文部省（現文部科学省）後援となり、さらに昭和58年8月25日、国税庁より簿記上級試験合格者に税理士試験受験資格の付与が決定。現在に至ります。

◆各級の基準



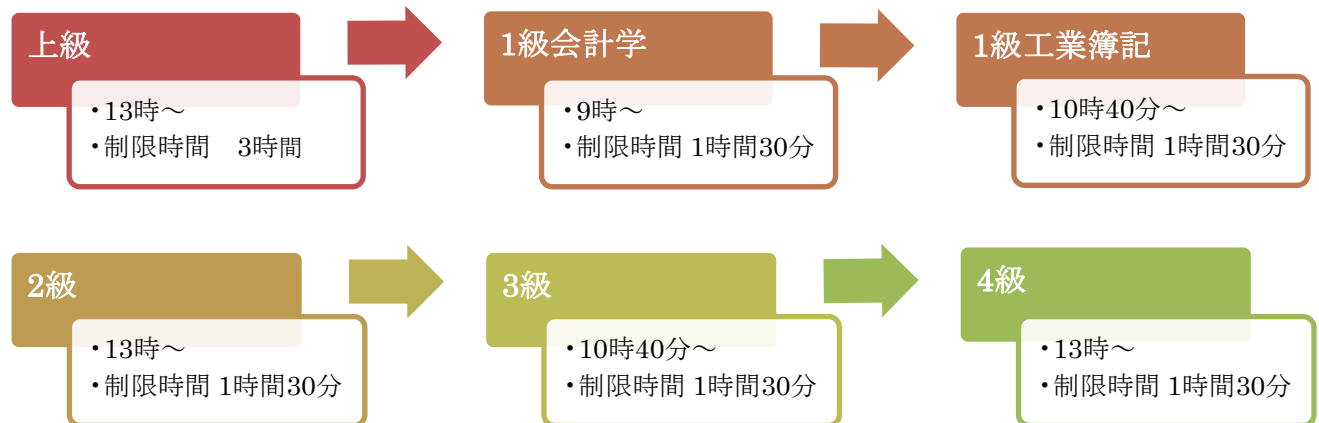
◆出題範囲・合格基準・受験料

級	試験科目	制限時間	合格基準	受験料
上級	商業簿記・会計学	1時間30分	70%以上	7,500円
	工業簿記・原価計算	1時間30分	但し、1科目ごとの得点は40%以上	
1級	会計学	1時間30分	70%以上	2,200円
	工業簿記	1時間30分	70%以上	2,200円
2級	商業簿記	1時間30分	70%以上	1,700円
3級	商業簿記	1時間30分	70%以上	1,400円
4級	商業簿記	1時間30分	70%以上	1,200円

◆受験資格

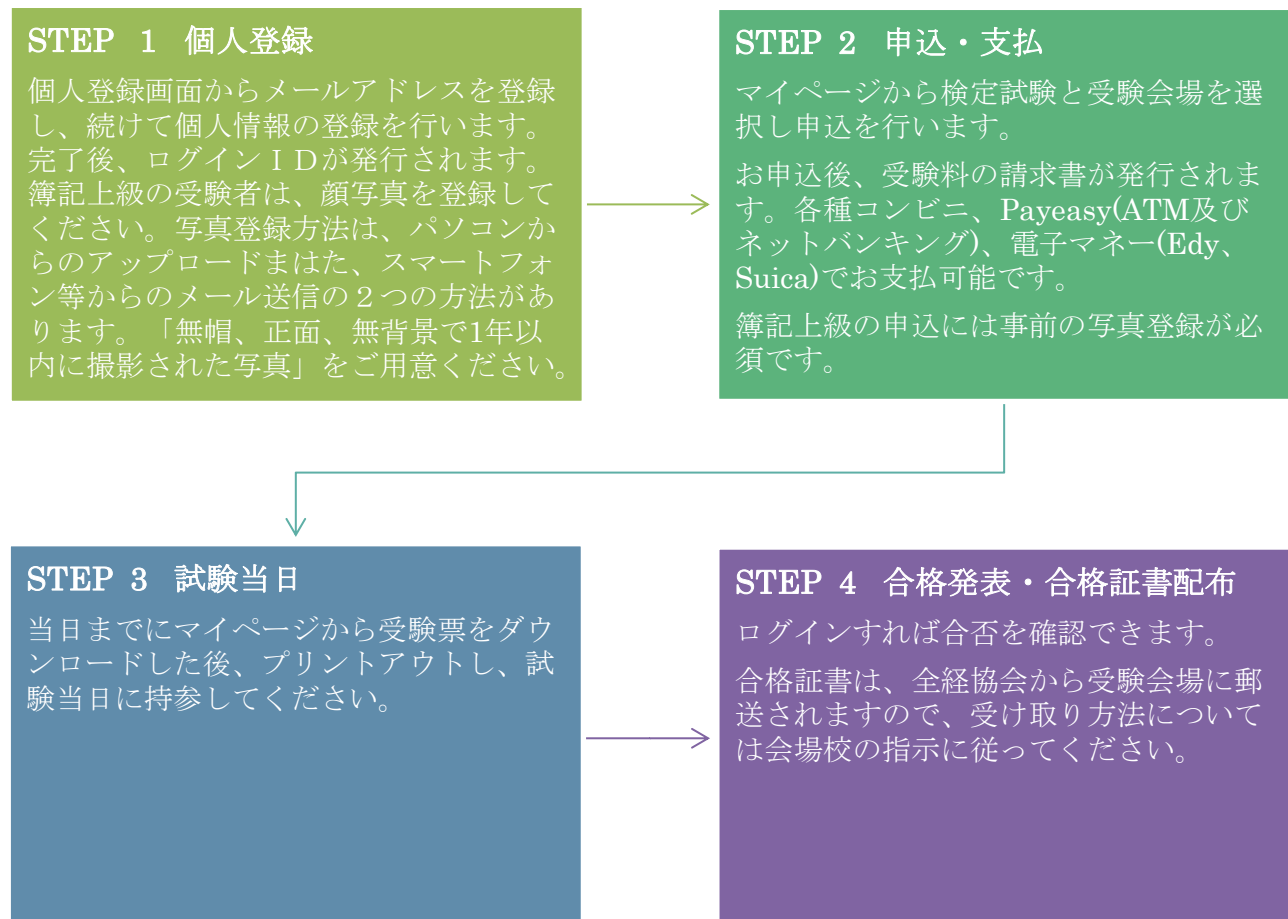


◆試験時間



◆登録申込から合格発表までの流れ

※お申込は <http://app.zenkei.or.jp/>



◆受験者データ

第 171 回 平成 25 年 7 月 14 日施行

	上級	1 級		2 級	3 級	4 級	合計
		会計	工簿				
受験者(人)	3,118	1,893	1,540	4,845	7,922	2,889	22,207
実受験者(人)	2,548	1,535	1,245	4,323	7,221	2,548	19,456
合格者(人)	410	644	859	2,683	5,501	1,922	12,019
合格率(%)	16.09	41.95	69.00	62.06	76.05	76.18	61.78

第 170 回 平成 25 年 2 月 17 日施行

	上級	1 級		2 級	3 級	4 級	合計
		会計	工簿				
受験者(人)	3,953	1,380	1,712	9,450	13,380	1,659	31,534
実受験者(人)	3,125	1,127	1,435	8,626	12,238	1,450	28,001
合格者(人)	513	214	945	3,908	8,054	847	14,481
合格率(%)	16.42	18.99	65.85	45.30	65.81	58.41	51.72

第 169 回 平成 24 年 11 月 25 日施行

	上級	1 級		2 級	3 級	4 級	合計
		会計	工簿				
受験者(人)	—	1,425	1,740	6,256	10,944	3,220	23,549
実受験者(人)	—	1,195	1,483	5,725	10,155	2,971	21,529
合格者(人)	—	561	987	2,987	7,252	2,441	14,228
合格率(%)	—	46.95	66.55	52.17	71.41	82.16	66.09

第 168 回 平成 24 年 7 月 8 日施行

	上級	1 級		2 級	3 級	4 級	合計
		会計	工簿				
受験者(人)	3,191	1,743	1,504	5,260	8,642	2,777	23,117
実受験者(人)	2,638	1,387	1,202	4,805	7,906	2,552	20,490
合格者(人)	458	343	646	2,453	5,693	1,874	11,467
合格率(%)	17.36	24.73	53.74	51.05	72.01	73.43	55.96

電卓計算能力検定試験は、全国経理教育協会が主催する検定です。試験とは、乗算、除算、見取算、複合算、伝票算の5種目について積極的に行われています。ビジネスに欠かせない電卓のスキルを客観的に測定することが可能です。特に経理事務担当者にとっては、必須の資格といえるでしょう。段位または1級の全問正解者には満点表彰があります。昭和62年7月25日、第1回電卓計算能力検定試験を実施、以後、年5回の施行。現在に至ります。

◆試験内容

段位	<ul style="list-style-type: none"> •程度は1級とし、出題数は2倍とする。
1級	<ul style="list-style-type: none"> •乗算（11桁）、除算（10桁）、見取算（5～10桁）、複合算（1題12桁以内）、伝票算（4～9桁）
2級	<ul style="list-style-type: none"> •乗算（9桁）、除算（8桁）、見取算（4～8桁）、複合算（1題11桁以内）、伝票算（3～7桁）
3級	<ul style="list-style-type: none"> •乗算（7桁）、除算（6桁）、見取算（3～6桁）、複合算（1題10桁以内）、伝票算（3～5桁）
4級	<ul style="list-style-type: none"> •乗算（7桁）、除算（6桁）、見取算（3～5桁）、複合算（1題9桁以内）

◆出題範囲・合格基準・受験料

級	試験種目	制限時間	合格基準	受験料
段位				2,900円
1級	乗算	段位～3級：50分 4級：40分	1級～4級：各種目70点以上 段位：1種目200点満点とし、各種目の得点が100点以上の総得点制とし、初段を500点以上、二段から50点ずつ加点して定め、全種目満点を名人とする。	1,900円
2級	除算			1,600円
3級	見取算	1,300円		
4級	複合算	1,100円		
	伝票算	※各種目10分ずつ		
	4級：伝票算なし			

◆受験資格

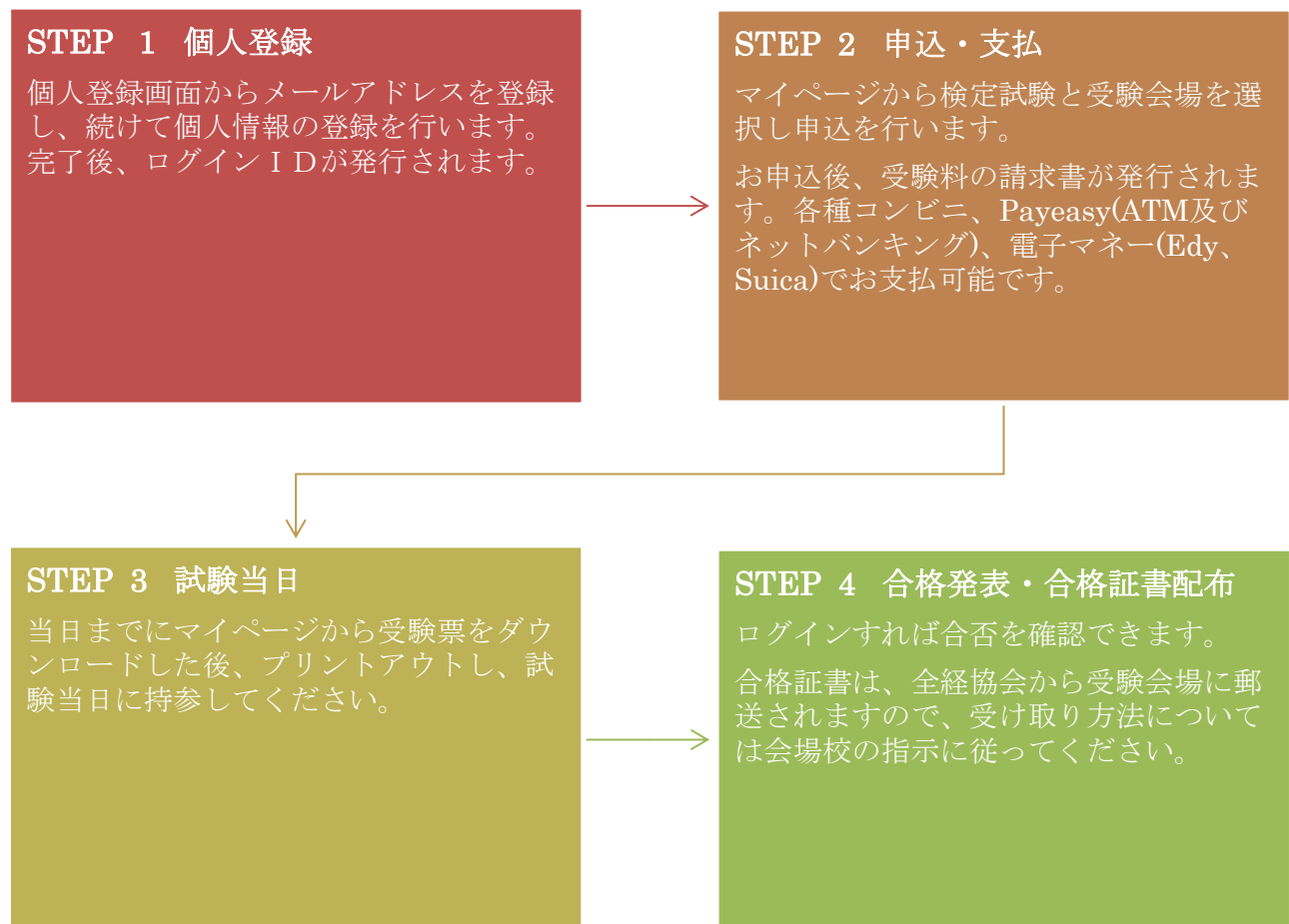


◆試験時間



◆登録申込から合格発表までの流れ

※お申込は <http://app.zenkei.or.jp/>



◆受験者データ

第 114 回 平成 25 年 10 月 19 日施行

	段位	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
受験者(人)	598	1,009	1,907	2,725	1,012	7,251
実受験者(人)	578	954	1,791	2,455	913	6,691
合格者(人)	234	506	987	1,105	381	3,213
合格率(%)	40.48	53.04	55.11	45.01	41.73	48.02

第 113 回 平成 25 年 7 月 20 日施行

	段位	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
受験者(人)	839	1,879	2,787	5,204	1,022	11,731
実受験者(人)	796	1,761	2,615	4,915	926	11,013
合格者(人)	276	939	1,471	3,035	505	6,225
合格率(%)	34.67	53.32	56.25	61.75	54.54	56.53

第 112 回 平成 25 年 5 月 18 日施行

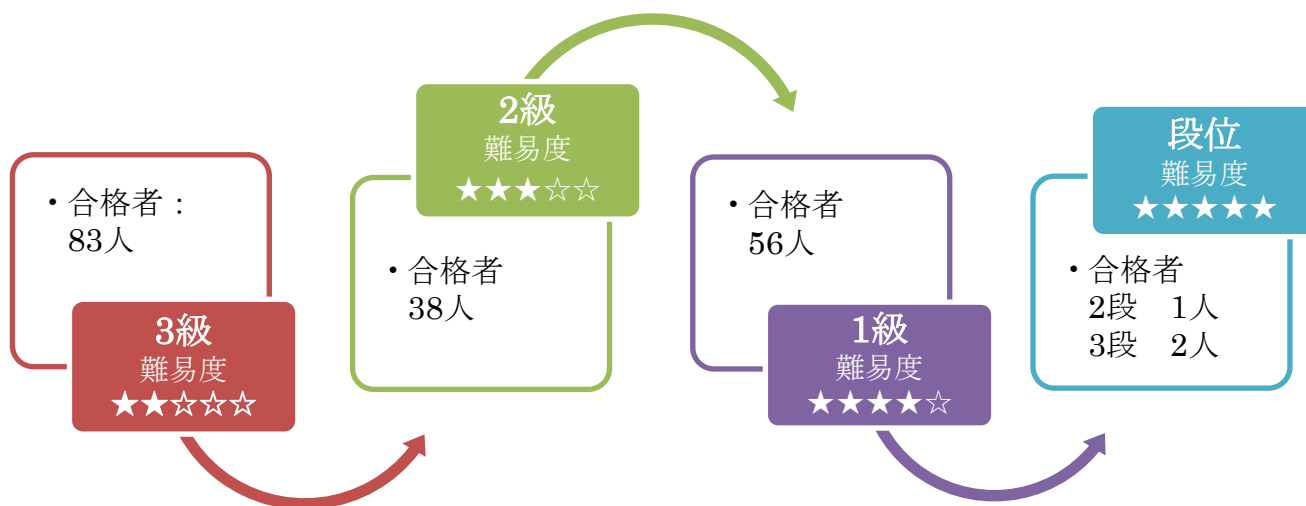
	段位	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
受験者(人)	533	1,159	1,163	2,063	154	5,072
実受験者(人)	515	1,106	1,118	1,998	147	4,884
合格者(人)	158	538	584	1,153	90	2,523
合格率(%)	30.68	48.64	52.24	57.71	61.22	51.66

第 111 回 平成 25 年 2 月 23 日施行

	段位	1 級	2 級	3 級	4 級	合計
受験者(人)	1,010	2,745	3,428	3,979	718	11,880
実受験者(人)	964	2,610	3,231	3,669	608	11,082
合格者(人)	263	1,423	1,707	1,826	254	5,473
合格率(%)	27.28	54.52	52.83	49.77	41.78	49.39

3. 本校近年検定試験実績

◆電卓計算能力検定試験留学生合格者

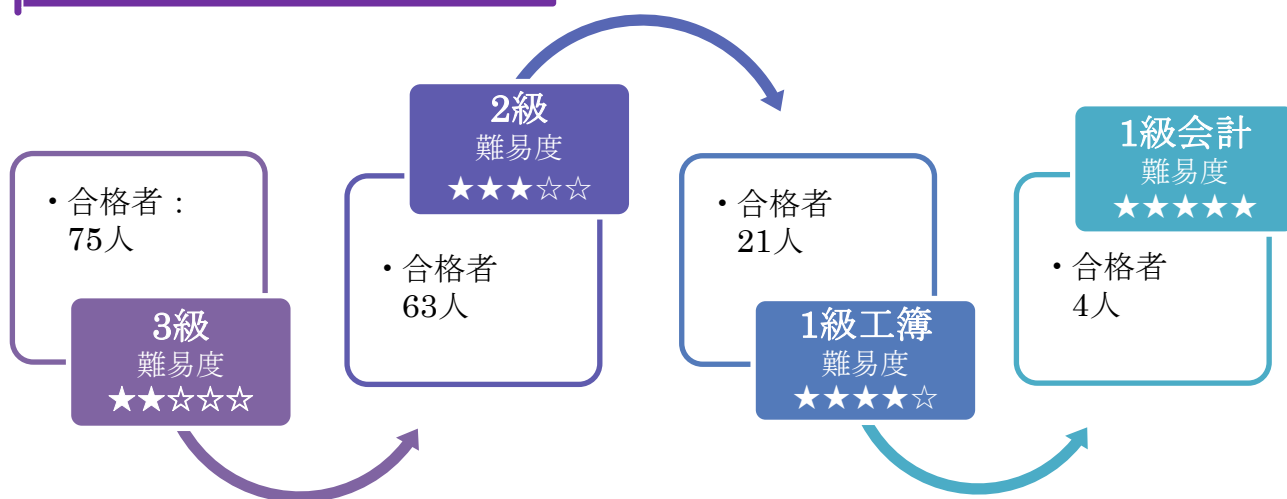


留学生が横浜経理専門学校に入学して受験する事ができる検定試験の一つに**電卓計算能力検定試験**があります。とにかく練習あるのみですが、これが実際検定試験当日になるとかなりハードな試験です。もちろん検定試験という事で緊張しますが、乗算10分→除算10分→見取算10分→複合算10分→伝票算10分を連続で実施されるので試験後の疲労感にはんぱではありません。集中力をいかに5科目すべて維持していくか、得意・不得意の科目をうまくカバーしていくかが重要です。そして、すべての科目が100点満点中70点以上でなければ合格できないという高いハードルがあります。さらに段位に関しては200点満点中5科目すべてが100点以上で段位が決まるという超難易度試験です。

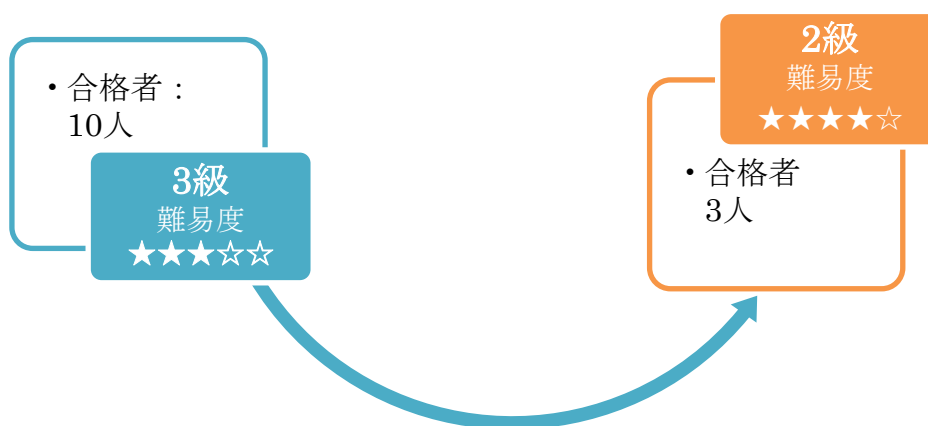
近年の本校の留学生合格者を分析してみると、最初に3級を受験して1級さらに段位に挑戦する人、いきなり2級を受験して段位に挑戦する人などにわかれています。段位合格者については1回で合格した人や3回目の挑戦で合格した人と様々ですが、本校の1級合格者が多いのはそれだけ現在段位に挑戦中の人数が多いという事ですが、なかなか1級まではスムーズに合格できても段位合格はかなりの難易度であり、近年の段位合格者3名は本校でも貴重な学生である。



◆全経簿記検定試験留学生合格者



◆日商簿記検定試験留学生合格者



本校の留学生が最初に挑む簿記検定試験が公益社団法人全国経理教育協会主催の簿記能力検定試験です。横浜経理専門学校も試験会場のひとつである為、本校の留学生にとっては受験しやすい検定試験でもあります。入学してすぐの7月にほとんどの生徒が4級もしくは3級を受験します。さらに11月には2級に挑戦となります。さらに早い人では次の2月に1級工業簿記を受験して合格後1年以内に1級会計を受験します。本校の近年の合格者を分析してみると3級・2級の合格率は全国平均以上です。ただ1級となると複数回受験者が増えており合格者も2級の3分の1となります。そして、その中で1級工業簿記合格後1級会計合格者となると4人にしぼられています。ただ、2級合格後に並行して日本商工会議所主催の日商簿記検定試験3級に挑む留学生が大勢います。こちらも合格後に2級へと進むわけですが、このあたりの検定試験になると、日本語読解能力も必須条件となりかなり留学生を悩ませています。また、2級の工業簿記の問題は広範囲の出題範囲からごく一部の問題が出題されるため長期にわたる勉強期間が必要です。2年間の専門課程ではあきらめきれず、さらに本校の4年過程に編入して勉強している生徒もいます。いずれにしても、全経1級及び日商2級は留学生にとっては難易度の高い検定試験ですが、そのぶん合格者のその後の就職活動では大いに反映されている価値のある検定試験です。



春節(しゅんせつ)とは旧暦の正月である。中華圏で最も重要とされる祝祭日であり、新暦の正月に比べ盛大に祝賀され、中国や台湾のみならずシンガポールなどの中華圏国家では数日間の祝日が設定されている。**2014年の春節(初一)は1月31日です。**

【表現】 春節は中国では過年とも表現され混同されているが、民間での習慣では過年は旧暦12月23日の祭灶(一部地方では12月8日の腊祭)から旧暦正月15日の元宵節までの期間を示すものである。**春節は正月初一を示す言葉であり、古代においては元旦と称されていた。**元とは始まるの意味であり、旦とは日の出を示す象形であることから、元旦は最初に日が昇る一日、すなわち正月を示す言葉となった。また春節は年、月、日の始まりであることから「三元」とも、それぞれの最初の朝であることから「三朝」とも称されることがある。

【由来】 旧暦の正月を祝う風習は文献資料で四千年以上前にさかのぼることが出来る。**古代中国の王であった舜は、臣下を率いて天を祭祀した記録があり、これが春節の起源とされるが、前漢武帝の時代以前は元旦の日付が統一されていなかった。**夏代は夏暦の元月を正月としていたが、殷代になると夏暦の十二月を正月とされ、周代になると十一月を正月、秦代になり十月を瑞月(始皇帝の嬴政の名諱により同音の「正」を「瑞」に改めた)とした。前漢の武帝の代に行われた太初改暦の際に夏暦の元月を正月に定められ、それは清滅亡まで続いた。清滅亡後に成立した中華民国では暦法に西洋諸国と同じグレゴリオ暦が採用され、1912年1月1日を民国元年1月1日とする暦法が採用された。その後の国共内戦を経て中華人民共和国が成立する直前の1949年9月27日、中国人民政治協商会議第一次全体会議において、新中国成立の際にはグレゴリオ暦を採用することが決定され、**新暦の1月1日を元旦、旧暦の正月初一を春節とすることが決定され現在に至っている。**



【伝承】 古代中国では年末年初に腊祭を行い先祖や衆神への祭祀が行われ、合わせて豊作を祈念することが一般的に行われていた。春節の来歴に関しては万年という人物の伝承が民間に伝わっている。勤労かつ善良な少年であった万年は生活の中で樹木の陰影が時期により移動することや水滴の滴る様を見て時間に対する規律性を発見した。当時の民衆は時間に対する規律性を知らなかったために農業などで大きな不便を感じていた。**万年はこれらの事象から四季を区別し草暦を編み出した。草暦を知った天子はこれを賞賛し春を一年の最初とし春節と名付けることを命じた。**その後万年は不完全であった草暦を完全なものとするため研究を続け、老人になり更に正確な暦を作成、その功労として天子によりそれは万年暦と命名され、万年は寿星に封じられた。人々は春節を迎えることを過年と表現し、家々では寿星図を準備し万年の功績をしのんだとされる。

【習慣】 春節での習慣としては、起床後に年配者に対して長寿を祝う言葉を述べ、その後近隣住民や知人と春節を祝う言葉を述べ合うものがある(拜年)。**また正月料理も存在しており、一般に鶏(吉と同音)や魚(余と同音)を食べるとされるが、広大な中国の中では地方により正月料理も大きく異なる。**北方では餃子が知られており、南方では一年が甘くなるようにとの願いを込めて糖蓮子や元宵、糖年糕を食べる習慣がある。また家庭では春節用の衣装を用意し、新年の華やかさを演出するだけでなく、新年に幸運をもたらす意味を持たせている。

